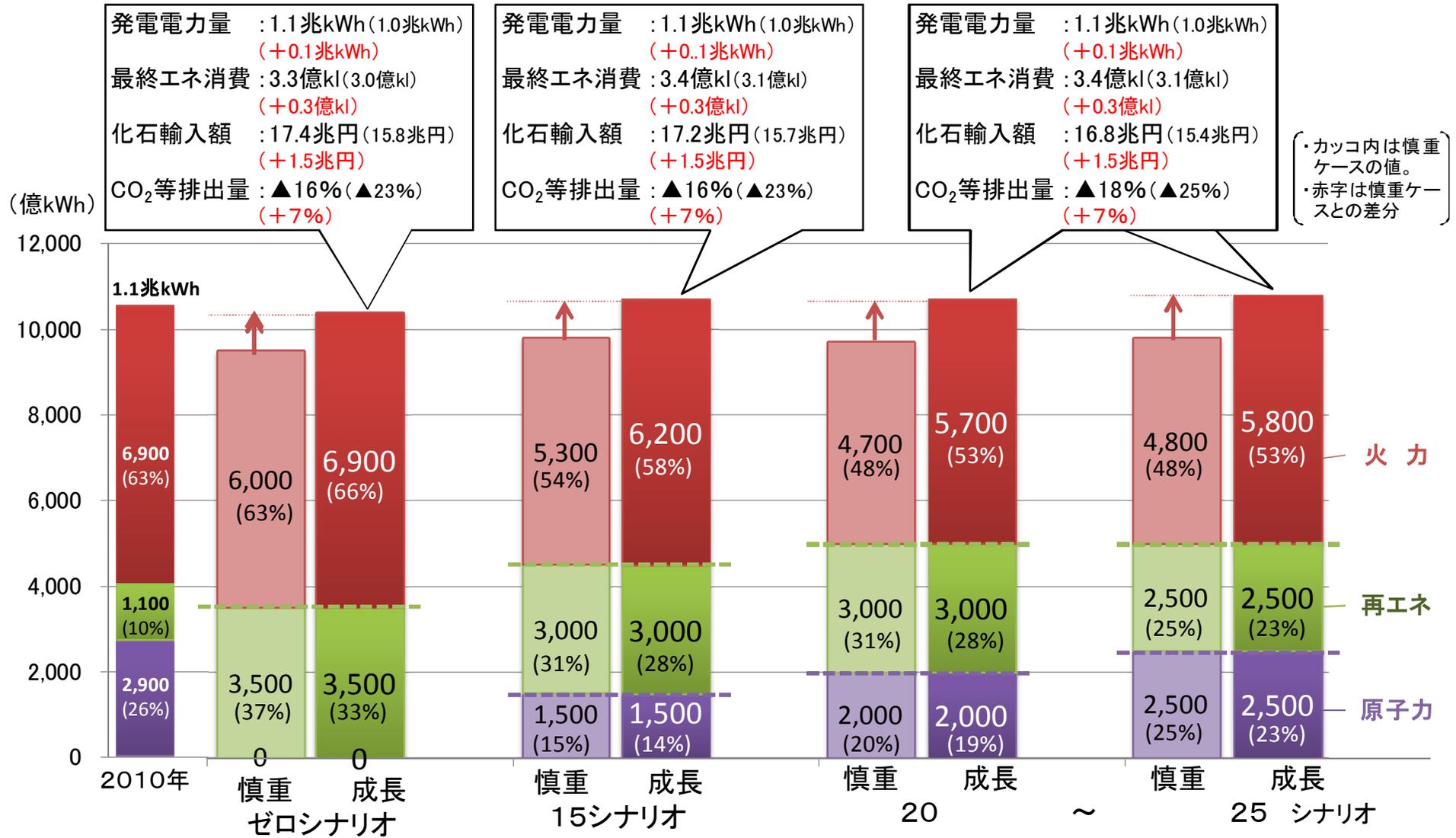


成長ケースの電源構成 (2030年の姿)

※成長に伴う電力・エネルギー消費の増加を、原子力と再生可能エネルギーの発電電力量は固定し、火力でまかなうことを想定して試算。

＜実質GDP＞

【慎重ケース】約620兆円(+2割)
 <成長率:2010年代1.1%、2020年代0.8%>
 【成長ケース】約690兆円(+3割)
 <成長率:2010年代1.8%、2020年代1.2%>
 (2010年 約510兆円)



・カッコ内は慎重ケースの値。
 ・赤字は慎重ケースとの差分

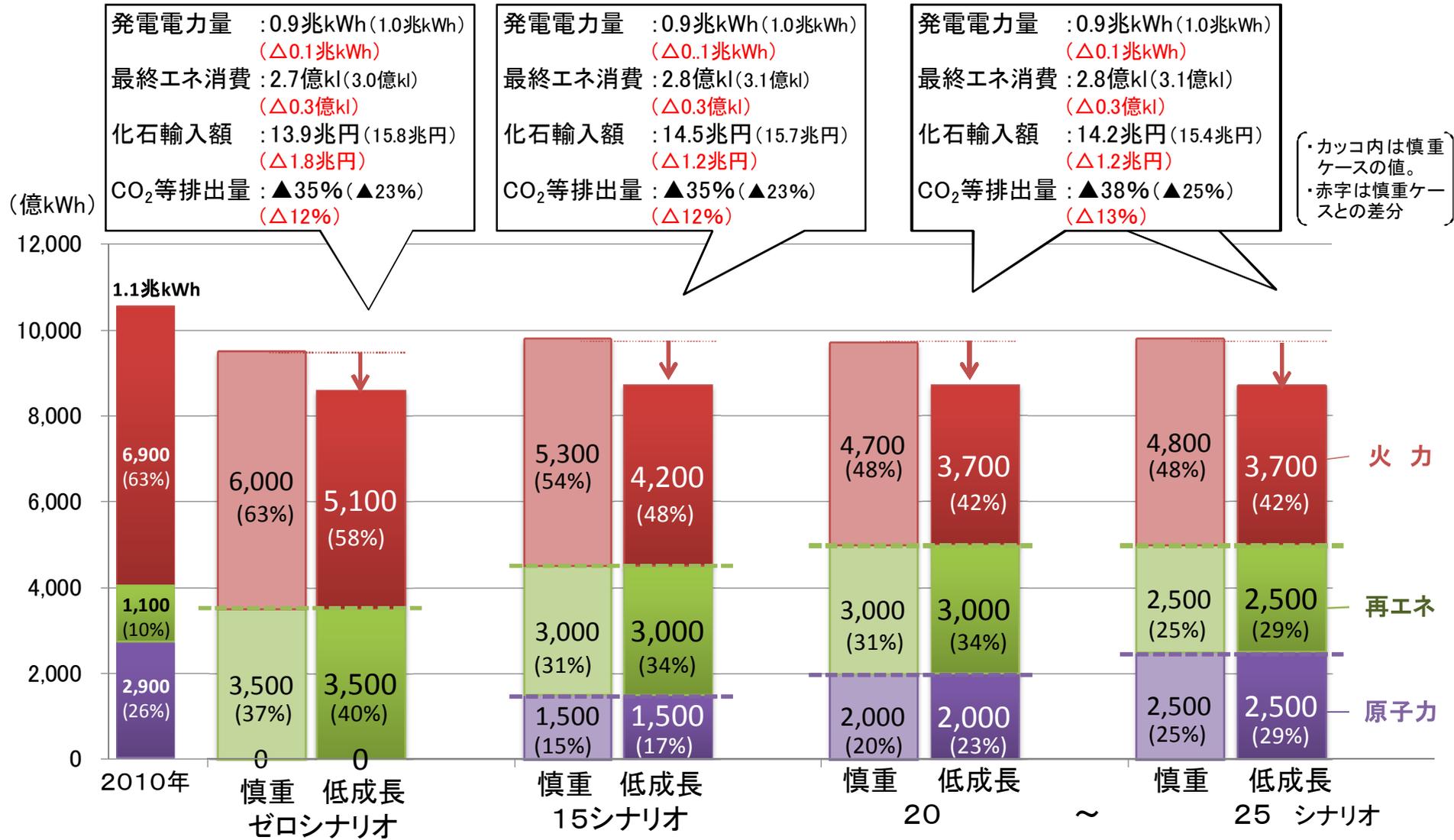
※四捨五入により合計値・それぞれの比率は一致しない。

※詳細については、「シナリオ詳細データ」参照。

低成長ケースの電源構成 (2030年の姿)

※総合エネルギー調査会基本問題委員会において委員から提案された過去10年間の生産年齢人口当たりGDP成長率(1.3%)が2030年まで続く仮定に基づくケース。
 ※成長の鈍化に伴う電力・エネルギー消費の減少を、原子力と再生可能エネルギーの発電電力量は固定し、火力で調整することを想定して試算。

＜実質GDP＞
【慎重ケース】約620兆円(+2割)
 <成長率: 2010年代1.1%、2020年代0.8%>
【低成長ケース】約540兆円(+1割)
 <成長率: 2010年代0.2%、2020年代0.4%>
 (2010年 約510兆円)



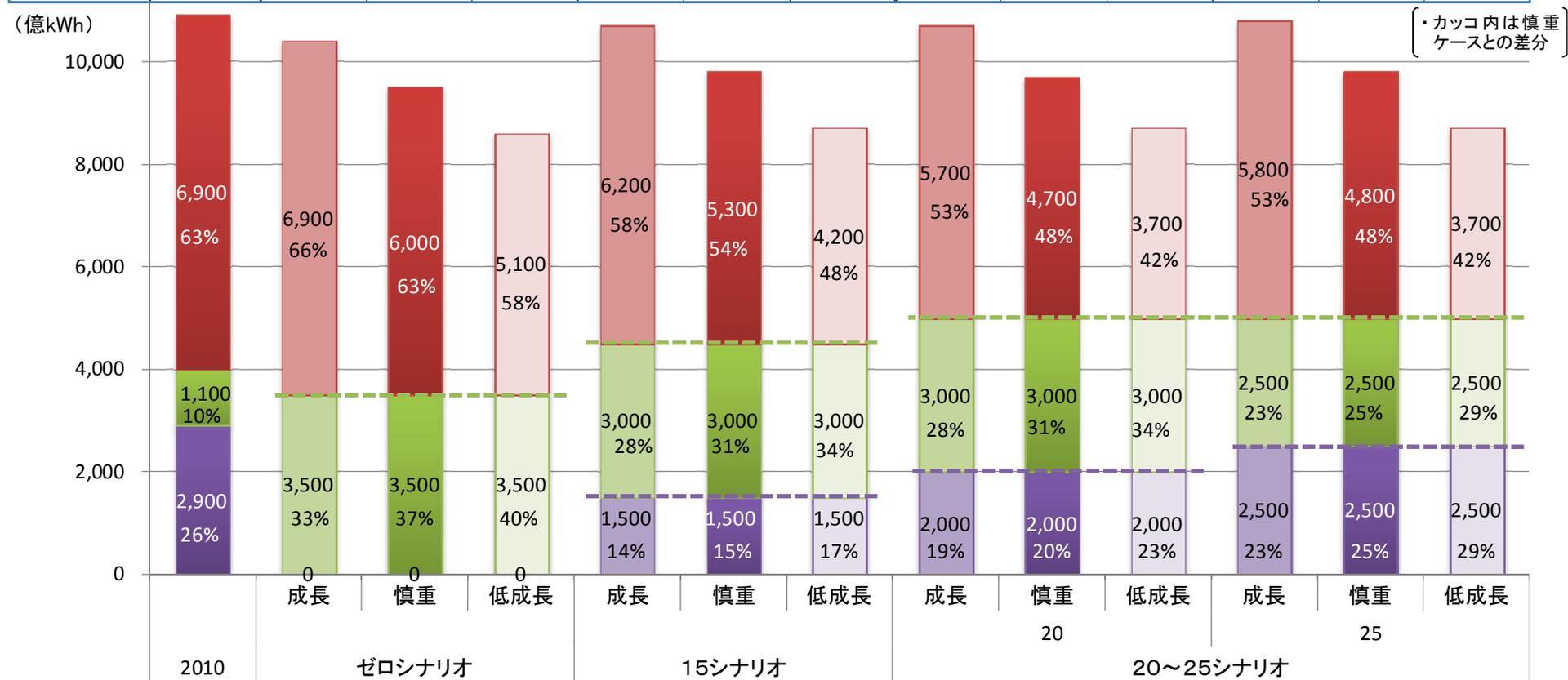
※四捨五入により合計値・それぞれの比率は一致しない。

※詳細については、「シナリオ詳細データ」参照。

異なる経済成長率を 前提とした試算 (2030年の姿)

<実質GDP> (2010年 約510兆円)
 【慎重ケース】約620兆円(+2割) <成長率: 2010年代1.1%、2020年代0.8%>
 【成長ケース】約690兆円(+3割) <成長率: 2010年代1.8%、2020年代1.2%>
 【低成長ケース】約540兆円(+1割) <成長率: 2010年代0.2%、2020年代0.4%>

	2010年	ゼロシナリオ			15シナリオ			20~25シナリオ					
		成長	慎重	低成長									
発電電力量	1.1兆kWh	1.1兆kWh	1.0兆kWh	0.9兆kWh									
		(+0.1兆kWh)	-	(△0.1兆kWh)									
最終エネルギー消費	3.9億kl	3.3億kl	3.0億kl	2.7億kl	3.4億kl	3.1億kl	2.8億kl	3.4億kl	3.1億kl	2.8億kl	3.4億kl	3.1億kl	2.8億kl
		(+0.3億kl)	-	(△0.3億kl)									
化石燃料輸入額	17.4兆円	17.4兆円	15.8兆円	13.9兆円	17.2兆円	15.7兆円	14.5兆円	16.8兆円	15.4兆円	14.2兆円	16.8兆円	15.4兆円	14.2兆円
		(+1.7兆円)	-	(△1.8兆円)	(+1.5兆円)	-	(△1.2兆円)	(+1.5兆円)	-	(△1.2兆円)	(+1.5兆円)	-	(△1.2兆円)
CO2等排出量 (1990年比)	▲0.6%	▲16%	▲23%	▲35%	▲16%	▲23%	▲35%	▲18%	▲25%	▲38%	▲18%	▲25%	▲38%
		(+7%)	-	(△12%)	(+7%)	-	(△12%)	(+7%)	-	(△12%)	(+7%)	-	(△12%)



※四捨五入により合計値・それぞれの比率は一致しない場合がある。

※詳細については、「シナリオ詳細データ」参照。